

平成31年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立上河内東小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成31年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成31年4月18日(木)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語, 算数, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語, 数学, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語 24人

② 算数 24人

5 留意事項

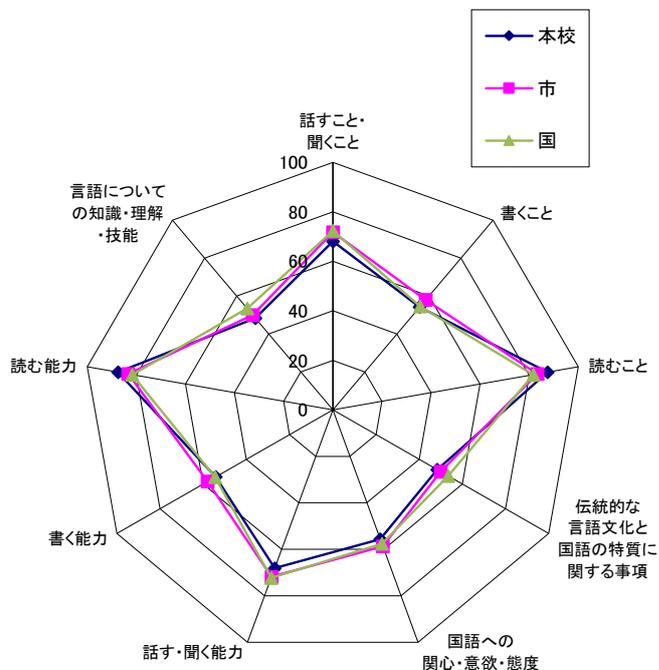
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立上河内東小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	68.1	71.8	72.3
	書くこと	54.2	58.0	54.5
	読むこと	87.5	83.3	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	48.3	50.0	53.5
観点	国語への関心・意欲・態度	55.6	58.7	57.6
	話す・聞く能力	68.1	71.8	72.3
	書く能力	54.2	58.0	54.5
	読む能力	87.5	83.3	81.7
	言語についての知識・理解・技能	48.3	50.0	53.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

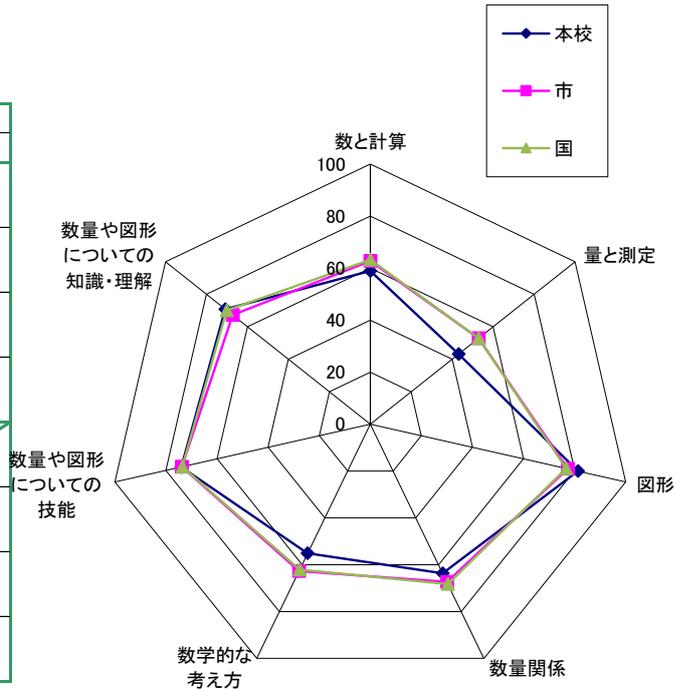
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○質問の工夫して適切なものを選択する問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●話手の意図を捉えながら聞き、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する問題で、正答率が全国平均より低かった。	・選択する問題では、じっくり問題文を読み、答えを導き出せるよう指導していきたい。
書くこと	○それぞれ資料をどのような目的で用いているか、適切なものを選択する問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題で、正答率が全国平均より低く、無解答率も全国平均より高かった。	・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるように指導していきたい。
読むこと	○知りたいことを調べるために本の目次から読むページとして適切なものを選択する問題で、正答率が100%だった。 ●ノートの空欄に、疑問に思ったことに対する答えになるように考えて書く問題で、正答率が全国平均より低く、無解答率も全国平均より高かった。	・目的の応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことができるように指導していきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●文脈の中で漢字を書く問題で、正答率が全国平均より低かった。	・漢字の読み書きが正しくできるように、教科書やドリルなどを使って学習をするよう指導していきたい。

宇都宮市立上河内東小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	58.9	62.7	63.2
	量と測定	43.1	52.9	52.9
	図形	81.3	77.3	76.7
	数量関係	63.7	67.4	68.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	55.2	62.7	62.2
	数量や図形についての技能	74.0	73.8	73.6
	数量や図形についての知識・理解	70.8	67.2	70.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○被除数と除数にかけの数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなのかを書く問題で、正答率が全国平均より低く、無回答率も、全国平均より高かった。	・具体物や図、数直線などを用いて考察する活動を取り入れていきたい。
量と測定	●減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く問題で、正答率が全国平均より低かった。	・式を基に図の面積の求め方を解釈し、説明する問題に取り組みさせていきたい。
図形	○二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることができる形を選ぶ問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ問題で、正答率が全国平均より低かった。	・図形の性質を用いた問題場面を設定し、自分の考えを文章や図で表現し、伝え合う活動を多く取り入れていきたい。
数量関係	○1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ問題で、正答率が100%だった。 ●だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ問題で、正答率が全国平均より低かった。	・場面の状況に応じて、変わることや変わらないことを考察する活動を取り入れていきたい。

宇都宮市立上河内東小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「人が困っているときは、進んで助けていますか。」という質問に対して、肯定割合が全国平均より高かった。道徳の授業や、普段の生活の中で、これからも、自然と手をさしのべることができる人になりたいという気持ちを継続させていきたい。

○「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか。」という質問に対して、肯定割合が全国平均より高かった。学習や、係活動、行事等で、最後までやり遂げる経験を今後も積極的に取り入れていきたい。

●「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」という2つの質問に対して、肯定割合が全国平均より低かった。規則正しい生活をする事の大切さを学校で今後も伝えていくこと、そして、基本的な生活習慣が徹底できるよう家庭にも協力をお願いしていきたい。

●「読書は好きですか。」という質問に対して、肯定割合が全国平均より低かった。学校の図書室の利用や、朝の読書の時間を活用し、本に触れる機会を設け、読書好きな児童を育てていきたい。

宇都宮市立上河内東小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣化に向けた取組み	毎日課題を出して家庭学習の習慣化を図りながら、実態に応じて自主学習を奨励し、計画を立てて学習する態度の育成に努める。	「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の質問に肯定的に回答した児童の割合が、79.2%と、国の平均、県の平均を上回っていた。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
国語の調査結果から、学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う問題の正答率が国の平均を下回っていた。	繰り返しの練習により定着を図る学習の充実	朝の学習の時間に漢字の練習を位置付け、ステップアップシート等を活用して復習させ、定着を図るとともに家庭学習の習慣化を図る。